



感動の体験発表

国際事業部部長 伏木久登

「一步一步ふみしめて、進んで止まぬ努力を重ねていると、生に善悪の二色があり、禍福の両面があり、明暗の二つの側があって、千変万化極まりないあやを織りなしている。こうした生活の味わいを、世相の妙を、まず目に見、身に体現してくると、刻々に生の喜びが感じられてくる。」

(『万人幸福の葉』 p157)

3月4日より9日までの6日間、3回目7ヶ月ぶりに訪伯しました。今回はサンパウロで1泊、アメリカーナで都合3泊、そして首都ブラジリアでも初めての宿泊(一泊)となりました。その出張の中で私自身最も感動したのが、アメリカーナ支部朝の集いで聞かせて頂いた6名の会友による体験発表でした。一人がわずか5分少々、短いスピーチではありましたが、そこには冒頭の『葉』の一節にあるような、実践によって得たり、または純粋倫理を学んだことで確認できた、生活の深い味わいが含まれた感動の「倫理体験」が6篇ありました。

アメリカーナ支部の Sonia Marchesi さんは企業経営での「捨我得全」の体験を発表されました。Sonia さんは20年間苦労を重ねて100名以上の社員を抱えるまでの縫製関係の会社を作り上げました。しかし、長期休暇の間に信頼していた社員によって相当な数の自社製品を横領されてしまいます。知り合いの弁護士からは、社員の給料や仕入れ先への支払いは全部

踏み倒せばよいとアドバイスを受けたが、Sonia さんは良心がゆるさず、結局自前の土地を売却し、それらの支払いに充てました。ゼロからの出発となり苦しさは当然ありました。しかし、喜んで支払った結果もう一度会社を立ち上げることができ、同時に息子たちに正しい行いを伝えることができたことを、喜びに満ちて発表してくださいました。

その他5名の方々の発表もいずれも素晴らしい「倫理実践体験」そのものでした。

私事ながら、今回は出発の一週間前に38度の熱を伴う風邪を引いてしまいました。訪伯に少々不安がありましたが、6名の方の発表を聞かせて頂き、「やっぱりブラジリアに来て良かった！」と思わずにはおれない意義ある6日間でした。ムイント オブリガード。

伏木国際部長来伯

アメリカーナ支部 須郷昭代

伏木国際部長は4日にサンパウロへ無事にお着きになりました。ロスの空港では10時間も待ち時間があつたそうです。合計30時間以上もかかってブラジリアへ来られました。でもとても御元気そうでしたので安心いたしました。その晩、7時からサンパウロのニックイパレスホテルで講演会をしました。聴衆は27人と少数でしたが、みんな熱心に耳を傾けていました。

5日は午前中は、セントロ支部の朝の集い

に出席され、実践報告の大切さを教えていただきました。昼食は川村氏宅でフェジョアードをご馳走になり、午後はアメリカーナ市へ移動、その夜の6時にホテルの会場を借りての講演会がありました。テーマは「約束を守れば幸せになる」です。会員が協力して大勢の人によびかけてくれました。それで75名もの参加者がありました。これは今まででも一番の数字です。途中から椅子が足らなくなり何度も追加して会場が一杯になりました。

6日にはアメリカーナ支部で9時から全支部合同の朝の集いをいたしました。

いつもの集いの後、6名の会員による体験発表がありました。それぞれにすばらしい内容で参加者全員が熱心に聴いてくれました。この日は54名でした。その後は伏木部長によるコメントがあり各体験発表について話されました。

10時30分からひな祭りのお茶会があり、伏木先生にお正客になっていただいて参加者にはお点前を見ていただきました。初めて日本文化を見る人も多かったので、須郷がお点前にあわせて解説をいたしました。その後お菓子とお茶を皆さまに味わっていただきました。

7日にはブラジルで二度目となる倫理の紹介をブラジリアニッポクラブで行いました。35名の参加者で今回は「人間は振り子」というテーマで話されました。

8日には夜7時から役員会がありました。

9日には無事にロスに向かって飛行機に乗られました。

伏木部長、サンパウロで講演！

セントロ支部 徳力洋子

3月4日夜、ニッケイパレセホテルにて伏木久登国際部長の講演会が開催されました。

はじめは倫理研究所の現在の活動について説

明がありました。

次にこの講演会のテーマである「成功の秘訣・健康の秘法」について、万人幸福の葉の解説を通してお話がありました。

第1条 日々好日

- ・即行、即止＝「気づくと同時に行う」→成功の秘訣・健康の秘法
- ・朝目がさめたらすぐ起きる→大自然、神からの指令が降りる→第一感、気づき→即行
- ・気づいても実行しないとチャンスを逃がす。
- ・自分の気持ちが素直なとき気づきが受けられる。
- ・強情・意欲が無い・心配性の人はチャンスを逃す。

第2条 苦難福門

- ・病気や苦難のメリット
- ① 病気になることで、新しい発見（気づき）がある。
夫婦関係の大切さがよくわかる。
明朗こそ自分が救われ、周りの人もよくなる。
- 気づかない場合は、苦難や病気が大きくなったり、重くなったりする。
- ② 自分中心のわがママが強いと病気が悪化する。自分のわがママを反省し、取り去るチャンスである。
- ③ 苦難・病気の原因や理由を知ることができ
る。
生活の不自然さ、心のゆがみが原因である。これを取り去れば、苦難や病気はよくなり、幸福な世界が待っている。

伏木部長はこの日の午後、サンパウロにお着きになったばかりで、お疲れと時差ぼけがおありだったはずなのに、熱心に教えをお伝えいただきました。本当にありがとうございました。

じっせんほうこく
実践報告

(6日アメリカーナ支部にて発表されたものです)

① **Maria Lúcia Polidoro** (カンピーナス支部)
50歳 企業家

だい じょう はたら さいじょう よろこ
第10条 働きは最上の喜び

みかえ もと よ おこな
見返りを求めない良い行いをする

た ひとびと たす おこな かん
他の人々を助ける行いをしたときに感じる

よろこ
喜び

じっせんほうこく
実践報告

わたし したぎせんもん ほうせいがいしゃ いとな
私は下着専門の縫製会社を営んでいます。

ねん りんり つど さんか まい
2013年から倫理の集いに参加しています。毎月

つきわたし しかくしょうがいしゃ こども えんじょ しせつ
私は視覚障害者の子供たちを援助する施設

に寄付をしてきました。最近(さいきん)は国全体(くにぜんたい)が不況(ふきょう)

なり、私の会社(わたくし かいしゃ)も打撃(だげき)を受けています。しばらく

寄付(きふ)もできませんでした。

ある日(ある日)、電話(でんわ)があり、その支援団体(しえんだんたい)の責任者(せきにんしゃ)

がいくらでもいいから助けてほしいと頼んできました。

たとえわずかでもいいからと言われました。

私はすぐに承諾(しょうだく)しました。いくら(いくらの)領

収書(しゅうしよ)を書くのかとたずねられたときに私は思

わず20レアイスと答え(こた)ました。(約(やく)700円)

電話(でんわ)をかけてきた人は大変(たいへん)喜んでお礼(れい)を言われ

ました。

次の日(つぎの日)に私は電気代(でんきだい)の請求書(せいきゅうしょ)を受け取りま

した。私は倫理(りんり)の教え(おし)を知って(し)から以前(いぜん)よりも

家(いえ)の中(なか)を整理(せいり)して仕事(しごと)をためないようにしてい

ます。アイロン(アイロン)もいつも掛(か)けていたのできつと

電気代(でんきだい)も高(たか)くなっていると思(おも)いました。それが

大変(たいへん)驚(おどろ)いたことにちようど20レアイスいつも

より安(やす)かったのです。そのとき(そのとき)に私は寄付(きふ)をし

た時(とき)の施設(しせつ)の人の喜び(よろこ)を思(おも)い出(だ)しました。良い

行(おこな)いにすぐにその喜び(よろこ)が帰(かえ)ってきたのです。

この経験(けいけん)は私(わたし)をととても幸(しあ)せな気持ち(きもち)にして

くれました。かわいそうな子供(こども)たちを少(すこ)しでも

助(たす)けることができ(でき)て本(ほん)当(とう)に良(よ)かったと思(おも)いま

した。もし私(わたし)が寄付(きふ)を断(ことわ)っていたらきつと何時(いつ)

までも後悔(こうかい)していたと思(おも)います。いつまでも寄(き)付(ふ)ができることを願(ねが)っています。金額(きんがく)は問題(もんだい)ではありません。心(こころ)がととても大(だい)事(じ)だと思(おも)います。

② **Sonia Marchesi** (アメリカーナ支部)

さい ほうせいけいせいしゃ
45歳 縫製経営者

だい じょう やくそく たが おのれ さいわい す ひ
第9条 約束(やくそく)を違(たが)えれば、己(おのれ)の幸(さいわい)を捨(す)て他

と ふう うば
人の福(ふう)を奪(うば)う

けいせい た なお できごと
経営(けいせい)を立て直(た)した出来(でき)事(ごと)

じっせんほうこく
実践報告

わたし さい さい ふたり むすこ おっと
私は21歳(さい)と23歳(さい)の二人(ふたり)の息子(むすこ)と夫(おっと)との

よんにんかぞく
四人(よん)家族(かぞく)です。

やく ねんまえ わたくし ほうせいかんけい かいしゃ た あ
約(やく)20年前(ねんまえ)に私(わたし)は縫製(ほうせい)関係(かんけい)の会社(かいしゃ)を立(た)ち上げ

ました。

最初(さいしよ)の頃(ころ)はととても大(たい)変(へん)でした。仕事(しごと)をしなが

ら子供(こども)の面(めん)倒(とう)を見て家(か)事(じ)を全(ぜん)部(ぶ)こなしました。

主人(しゅじん)は会社(かいしゃ)に勤(つと)めていたので夜(よる)や週(しゅうまつ)末(つ)に手(て)伝(でん)

てくれました。努力(どりよく)の甲(か)斐(はい)があつて、会社(かいしゃ)

発(は)展(てん)して主人(しゅじん)も勤(つと)めをや(や)めてわが社(しゃ)で働(はたら)けるよ

うになりました。

営(えい)業(ぎょう)の方(ほう)に人(ひと)手(て)が要(い)るようになり一人(ひとり)雇(やと)うこ

とになりました。その人(ひと)は長(なが)い間(ま)正(せい)直(ちく)に熱(ねつ)心(しん)

に働(はたら)いてくれました。会社(かいしゃ)が軌(き)道(どう)に乗り(のり)、長(なが)

間(ま)旅(りょ)行(こう)もできなかつたので思(おも)い切(き)って10日(じゅうにち)間(ま)

チリにスキー(スキー)をしに行(い)きました。(本(ほん)当(とう)に休(やす)み

なしに働(はたら)いていたのです。)

ブラジル(ブラジル)に帰(かえ)つてみて驚(おどろ)いたことに信(しん)用(よう)して

全(ぜん)部(ぶ)を任(まか)せていた人(ひと)が全(ぜん)く一(ひと)言(ご)の説(せつ)明(めい)もなしに

いなくなっていたのです。会社(かいしゃ)に入(はい)つて驚(おどろ)いた

ことに、数(すう)字(じ)の上(うへ)ではか(か)なり(かなり)の在(ざい)庫(こ)があるはず

なのにほとん(ほとん)ど空(から)にな(な)っていま(いま)した。留(る)守(す)の間(ま)

にかなり(かなり)の品(しなもの)物(ぶつ)を売(う)っていま(いま)した。売(う)り上(あ)げ

は口(こう)座(ざ)には入(はい)つてお(お)らず、会(かい)計(けい)はわ(わ)けが分(わ)かり

ま(ま)せ(ま)ん(ま)で(ま)した。も(も)つ(つ)と(と)驚(おどろ)いた(いた)のは(のは)会(かい)社(しゃ)か(か)ら(か)ら

消(け)え(え)て(て)し(し)ま(ま)つ(つ)た(た)人(ひと)は(は)自(じ)分(ぶん)の(の)会(かい)社(しゃ)を(を)立(た)ち(ち)上(あ)げ(げ)て(て)い(い)た(た)

です。その(その)時(とき)は(は)100人(にん)以(い)上(じょう)の(の)社(しゃ)員(いん)を(を)抱(かか)えて(て)い(い)ま

した。それに仕入れ先へも払いがありました。
 まったにゆうきん な 全く入金が無いにもかかわらずです。たった
 いちにち わたし たいへん きき おちい 一日で私たちは大変な危機に陥ったのです。
 べんごし さが た いろいろ ひと いけん (おな 弁護士を探し、他の色々な人の意見(同じよう
 けいけん ひと き ぜん な経験をした人)を聞きました。アドバイスは全
 ぶぶ たお し かお い 部踏み倒して知らん顔をするのがいいと言われた
 のです。この国ではそうするのがあたり前と言わ
 れました。社員にも仕入れ先にも払わないで、
 じぶん ざいさん と たにぬめいぎ 自分の財産は取られないように他人名義にしろと
 いけん ぜんきん はら という意見でした。もちろん税金なんか払わないで
 いいということでした。私たちはそのようなこ
 とはできませんでした。私たちの理念に反しま
 す。会社を大きくするために土地を買っていて、
 ぶんかつばら はら けっしん と ち 分割払いで払っていたのですが、決心をして土地
 を売って全部の支払いを済ませました。残念な気
 持ちで一杯でした。全くのゼロからやり直し
 しました。

でも、私は正しい道を歩んでいるという確信
 がありました。息子達にも正しいことを行う大
 切さを伝えました。大変な努力の末にもう一度会
 社を立ち上げることができました。幸いにも他
 の不動産は手放さずにすみしました。我々をだま
 して別会社を立ち上げた元社員は一年もしないで
 倒産したと聞きました。

この経験から私は正しい道を歩むことの大切
 さを知りました。倫理の教えから喜んで払うと
 いうことを学びました。苦しい経験から家族がも
 っと強く団結するようになりました。これからも
 喜んで実践をします。

**小さなことでもよい。身近な人の美点を
 たくさん見つけよう。**

身近な人のよいところを探してみましよう。

悪口を言うのはやめて、

良いところを見つけて誉めましよう。

誉められるのは、誰でも嬉しいものです。

あなたに対しても、
 好意をもつようになります。
 欠点ばかりに目がいくのは、
 心にゆとりがないからです。
 誰にでも、悪いところはあります
 でも、良いところもいっぱいあります。
 どんなに小さなことでも、
 その人の美点をたくさん見つけましよう。
 自分も相手も、明るく素敵な心になります。
 [『仕事が楽しくなる 50の習慣』より抜粋]

しきなみ短歌

- ❖ 電話線路上で切られ静かなり電話なければ
 仕事はかどる 川村幸男
- ❖ 期待する日本力士の歯痒さよ苦い思いとコ
 ーヒーを飲む 須郷昭代
- ❖ 生かされて守られているありがとう亡き母
 に毎朝手をあわす 照屋美佐子
- ❖ 来伯の記念に叔父が買いくれしカトレアの
 花今年も咲き初む 徳力洋子
- ❖ 長からぬ余生と思ひ妻さそう訪日の旅ま
 ずはふるさとへ 山田充伸
- ❖ 久しぶり今日の好き日のお正月みんな遊
 ぼう海につかりて 松本つよ子
- ❖ 夫逝きて四十九日忌も過ぎてただなんとな
 く手持ち無沙汰か 大志田良子
- ❖ 家の中静かになりて息子を思うゲームの音
 消え新学期くる 三田村元信
- ❖ 百越える大久保先生に膝近く薫陶うくる書
 友のあまた 岡田進
- ❖ 「狭かった音がしてた」と語る孫お腹の中
 での胎内記憶 島田光男
- ❖ 入庫するとき思いきり横腹を角に当てたり
 わが子プリウスの 木村英世
- ❖ 極月の冬のしまりを身に受けて足早にゆく
 出勤の朝 矢口裕司